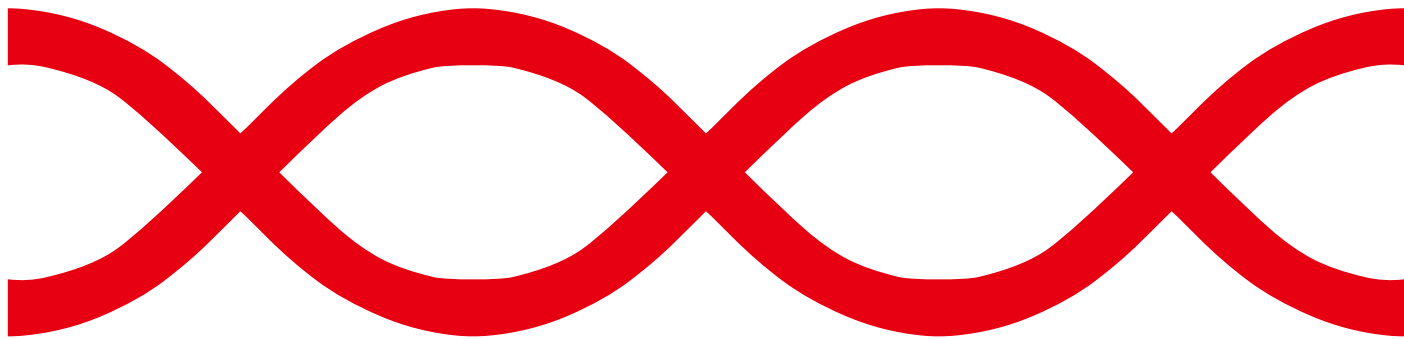




東邦ラス工業株式会社
TOHO LATH INDUSTRIAL CO., LTD.

アイデアの創造で、可能性は無限に広がっていく。



With creation of ideas, the possibilities are infinite.

会社概要



本 社	東京都新宿区新小川町4番7号 アオヤギビル TEL／03-3235-8171(代表) FAX／03-3235-8822
浦安物流センター	千葉県浦安市鉄鋼通り2丁目3番10号 TEL／047-352-6609 FAX／047-352-6619
福 島 工 場	福島県西白河郡西郷村大字小田倉字馬場坂163番地2 TEL／0248-25-3221(代表) FAX／0248-25-3223
資 本 金	21,000,000円
創 立 年 月 日	1949(昭和24)年3月25日
役 員	代表取締役社長 永井 信太郎 取締役 辺見 辰男 取締役 田村 浩二 監査役 永井 史香
取 引 銀 行	みずほ銀行 八重洲口支店 三菱UFJ銀行 八重洲通支店 三井住友銀行 飯田橋支店
主 要 販 売 先	阪和興業株式会社／旭化成建材株式会社／前田工織株式会社／ エムエム建材株式会社／JFE商事鉄鋼建材株式会社／ NS建材販売株式会社／日鉄物産株式会社／中央鋼材株式会社／ スズキテクノス株式会社／ベルテックス株式会社(順不同)
主 要 仕 入 先	阪和興業株式会社／興亜産業株式会社／スズキテクノス株式会社／ 住友商事グローバルメタルズ株式会社(順不同)
従 業 員 数	男55名／女12名／計67名
事 業 内 容	エキスパンドメタルの製造販売、メタルラス並びに建築用材料の製造販売、 一般鋼材並びに非鉄金属の販売、建築及び土木用資材の販売、 建築及び土木工事の設計及び施工、前各号に附帯又は関連事業
製 品 名	エキスパンドメタル、アートメタル、ハイアート、ブラインドメタル、その他ラス全般
許 認 可	東京都知事 許可 建設業(般-8)第103629号 ISO9001認証取得 リブ付きエキスパンドメタルの設計方法(共有特許登録第3576878号) リブ付きエキスパンドメタルの製造装置および製造方法 特許登録(登録第5112150号) エキスパンドメタル及びその製造特許登録(共有特許登録第6404086号) エキスパンドメタル JIS G 3351 を認証取得 メタルラス JIS A 5505 を認証取得 SDEX商標登録(登録第5881077号)

沿革

1949年3月25日	永井久男初代社長が、東京都千代田区神田鍛冶町2丁目10番地に東中建材工業株式会社の社名にて資本金1,000,000円を以って設立
1949年7月1日	東京都大田区北糀谷381番地に蒲田工場を設置
1950年7月18日	本社を東京都千代田区内幸町2丁目20番地に移転
1952年1月16日	社名を東邦ラス工業株式会社に改称
1953年2月3日	本社を東京都中央区新富町1丁目1番地に移転
1957年3月23日	本社を東京都中央区宝町3丁目3番地に移転
1960年8月12日	資本金を3,000,000円に増資
1961年5月10日	千葉県船橋市七林町115番地3に船橋工場を設置
1965年5月17日	本社を東京都中央区宝町3丁目4番地に移転
1969年9月25日	資本金を6,000,000円に増資
1977年8月25日	福島県西白河郡西郷村大字小田倉字馬場坂163番地2に福島工場設置及び営業所開設
1979年1月28日	本社を東京都大田区北糀谷2丁目15番5号に移転
1979年2月20日	永井洋佑氏が二代目社長に就任
1979年4月3日	資本金を21,000,000円に増資
1982年7月10日	千葉県浦安市富士見5丁目11番32号に浦安営業所及び倉庫を設置
1986年3月1日	本社を東京都新宿区新小川町5番1号(ニューリバー51ビル)に移転
1987年2月1日	浦安営業所及び倉庫を統合し、物流センターを千葉県浦安市鉄鋼通り2丁目3番10号に移転
1990年6月15日	福島工場第3工場建設
1994年8月8日	本社を東京都新宿区新小川町4番7号アオヤギビルに移転
1996年6月20日	建設業の東京都知事許可を取得
2000年1月13日	福島工場において、ISO9001を認証取得
2003年1月24日	中国上海市に上海東佑新型建材有限公司を開業
2004年7月16日	「リブ付きエキスパンドメタルの設計方法」特許登録(共有特許登録第3576878号)
2004年11月20日	永井信太郎が三代目社長に就任
2005年12月26日	蒲田工場を浦安物流センターに統合
2006年4月1日	福島営業所を本社営業部に統合
2007年1月20日	福島工場第3工場再増設
2008年9月30日	福島工場において、エキスパンドメタル JIS G 3351 を認証取得
2010年2月26日	上海東佑新型建材有限公司を閉鎖し、福島工場に統合
2012年10月19日	「リブ付きエキスパンドメタルの製造装置および製造方法」特許登録(登録第5112150号)
2016年1月26日	福島工場において、メタルラス JIS A 5505 を認証取得
2016年9月9日	「SDEX」商標登録(登録第5881077号)
2018年9月21日	「エキスパンドメタル及びその製造」特許登録(共有特許登録第6404086号)

100年企業を目指し、 金属加工業の新たな可能性を切り拓く

創業70年以上の歴史をもつ東邦ラス工業は、エキスパンドメタルを中心とした金属の一次加工を主要領域とし、様々なお客様に多くの製品を提供してまいりました。

リーマンショック以降、お客様のニーズは、大量生産から多品種少量へと大きくシフトし、当社では、「必要なものを必要な時に必要な分だけ」というご要望にお応えするとともに、「あったらいいな」を実現することが、ビジネスチャンスを広げる重要なカギと捉え、お客様のご意見・ご要望をヒヤリングしながら、差別化商品や新商品の独自開発を推進。

その他に、高品質と低コストを両立させる専門部署も新たに設置し、機械の回転数を上げるだけでなく、金型・刃物の交換時間や材料セット時間の短縮など、機械の稼働率アップによる生産性向上にも注力しています。

今後はエキスパンドメタルと他の部材を連結させた製品製造など、二次加工へ領域を拡大し、更に商品開発を加速することで、マーケットを広げたいと考えています。そのために必要なノウハウや設備をより一層整え、金属加工業界の新たな可能性を切り拓いていきます。

当社が大切にしている理念は「人間中心主義」。社員の幸せと成長を意識した企業経営と人材育成を心がけています。特に力を入れているのが、全社員を対象とした、専門講師による年1回の研修です。

マネジメント層、中間職、一般社員と、社員を3つのクラスに分け、それぞれのキャリアプラン構築と能力・スキルの底上げを図っています。また、当社には社員の声から生まれた取り組みも多数。インスタグラムを活用した情報発信や、拠点間のコミュニケーション向上を目的としたジョブローテーション（業務一日体験）など、時代の動きを敏感に捉えながら、さまざまな意見を取り入れることで、さらなる組織活性化に努めています。

数ある日本企業のなかで、100年以上続く企業は1%未満といわれています。「会社と社員との一体感、物事に真摯に向き合う姿勢」と「お客様からの信用」は、当社が70年間培ってきた大切な財産。100年企業向け、この財産をベースに未来へ向けて果敢にトライし続けるとともに、社員が知識や経験、やりがいを積み重ねることで人間性を醸成できる会社を目指します。そしていつまでも皆様に選ばれる企業でありたいと考えています。



代表取締役社長
永井 信太郎



東邦ラス工業のコア技術

エキスパンドメタル

一枚の板から網を作る、当社の主力製品。網目のズレや歪みがなく、高い強度と軽量を兼ね備えます。

03



アートメタル・ハイアート

エキスパンドメタルのsmallメッシュタイプ。きめ細かい独特な立体構造で、アートな空間を演出。

05



ブラインドメタル

コンクリート打設の合理化を実現する製品。ノロ漏れ現象を防ぎ、効率的かつ強固に接合します。

07



リブX・カットシート

エキスパンドメタルと縁（リブ）を一体化したリブX。カットシートは、切断時におけるドロス付着を軽減する定盤。

09



意匠用アルミエキスパンド

エキスパンドメタルの特長を生かした特注品。適度な遮断性と高い耐候性で、あらゆるシーンに順応。

11



その他金網各種

パンチングメタルやワイヤーメッシュ、平織金網など、用途に応じて多種多様な金網の取り扱いも。

13

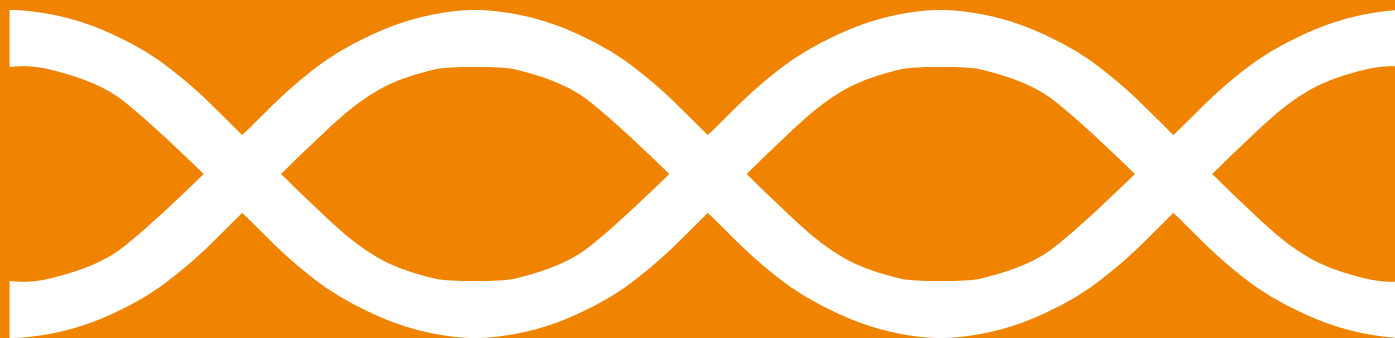


01

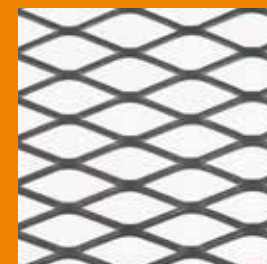
CORE TECHNOLOGY

エキスパンドメタル

EXPANDED METAL



XG14



XG21



S-43

他の金網とは一線を画す驚きの製造法

「一枚の板から網を作る」という画期的な発想から生まれたエキスパンドメタル。製造機に通された金属板は千鳥状に切れ目が入り、押し広げられることで、菱形や亀甲形に成形した金網として生まれ変わります。編み加工を施した金網とは違い接合部分が一体化しているため、網目のズレや歪みがなく、堅牢な金属板に仕上がります。



頑丈と軽量を両立

例えば、建設現場においてエキスパンドメタルで足場を組んだ場合、高い強度を保ちながら、重量は同じ板厚の鉄板のわずか三分の程度。現場で働く人の負担も軽減できます。



原材料の廃棄ゼロ

一枚の金属板で構成されるエキスパンドメタルは理論上、“製造工程における原材料の廃棄ゼロ”を実現することが可能。ムダがなく経済的で、地球環境にも優しい製品といえます。



衝撃やスリップにも強い

編み加工を施していないため、強い衝撃などにより網目が断裂した際も、断面からほどけることもなく、メッシュの状態をキープ。床面使用時には、高い滑り止め効果も発揮します。



多種多様なニーズに対応

材質やメッシュの大きさ、板厚など用途に応じてさまざまな種類の製品をご用意。またメッキ、切断、フラット、曲げなどの加工も可能で、幅広いニーズにお応えします。

エキスパンドメタルの導入事例



02

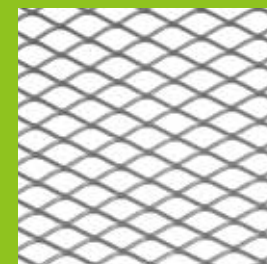
CORE TECHNOLOGY

アートメタル・ハイアート

ART METAL ・ HIGH ART METAL



2.2×3 (アートメタル)



7×14 (アートメタル)



ウメ (ハイアート)

ワンランク上の上質な空間を創造

エクスパンドメタルのsmallメッシュタイプ。“よりアーティスティックに”ご利用いただく機会も多く、「アートメタル」という独自の名称で親しまれています。バスケットをはじめ日常的な製品から、モルタル壁の芯材など目に見えない部分まで、幅広いシーンで活躍。高い技術力で紡ぐ微細な網目は、見る者に感動をもたらす空間を演出します。



高いデザイン性

きめ細かなメッシュと独特の立体構造により、多彩な表情を演出。壁面や天井パネルなどインテリアに活用することで、光の反射・視点の変化によるアートな空間を楽しめます。



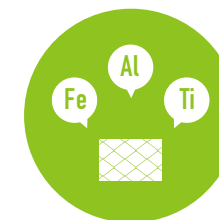
優れた通気性と採光

小さなお子様の指も通らないほどの微細なメッシュでありながら、高い開口率をキープ。良好な通気性と採光が特長で、エアフィルターの部材としても最適です。



輸送や加工がカンタン

薄くて軽いうえ、加工も容易。輸送や切断などにかかるエネルギーコストを削減。製品は一枚の金属板で作られているため、網目がつれたり、ほどけたりする心配ありません。



多彩なアレンジが可能

鉄製鋼板からステンレス、アルミ、チタンまで、さまざまな素材を製品にすることが可能。また電気メッキや塗装、アルマイトなど、表面加工処理のご相談も承ります。

アートメタル・ハイアートの導入事例

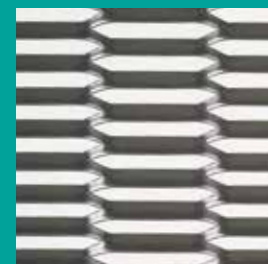
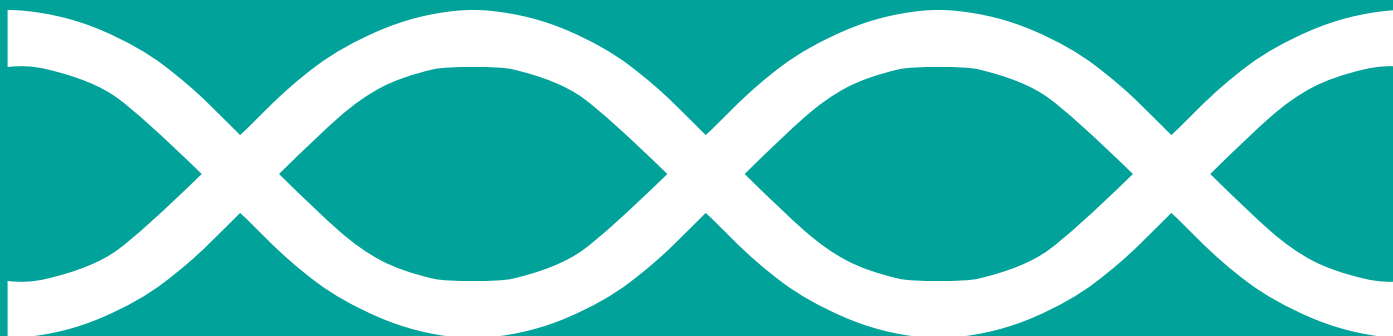


03

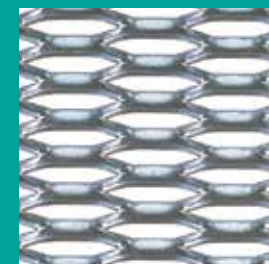
CORE TECHNOLOGY

ブラインドメタル

BLIND METAL



10×50



4.5×20

コンクリート建造物を強固かつ効率的に支える

鉄筋コンクリート造（RC）、鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）の構造物におけるコンクリート打設の際には、水平及び垂直面に打継部が発生します。ブラインドメタルは垂直打継の時の打設処理を合理化するために考えられた製品。コンクリートの漏れを防ぐとともに、打継が良好になります。



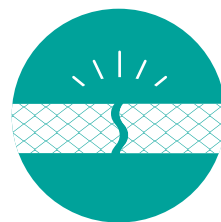
ノロ漏れを防ぐ

ブラインドメタルの角度が45°に近いため、型枠の隙間からコンクリートが染み出す「ノロ漏れ」現象を大幅削減。打設後の清掃作業を簡略化し、コンクリートの美観も向上します。



作業を高効率化

埋め込み式であるため、従来工法における仕切り板を取り除く作業が不要に。打設後の処理にかかる手間や時間を大幅に削減すると共に、コンクリートの充填が確認出来る為、ジャンカ防止になります。



少ない補強で固く連結

製品本体の剛性が大きい為、コンクリートの側圧に対する補強が少なくても十分な締固めが可能。一体打ちコンクリート部材と同程度の力学性状が期待できます。



あらゆるシーンに調和

工場生産ができるため、寸法切断、異形切断にも対応。打継材以外に型枠としての使用も出来、コンクリートを止める用途に適しています。配筋時及び配筋後の取り付けも可能です。

ブラインドメタルの施工イメージ

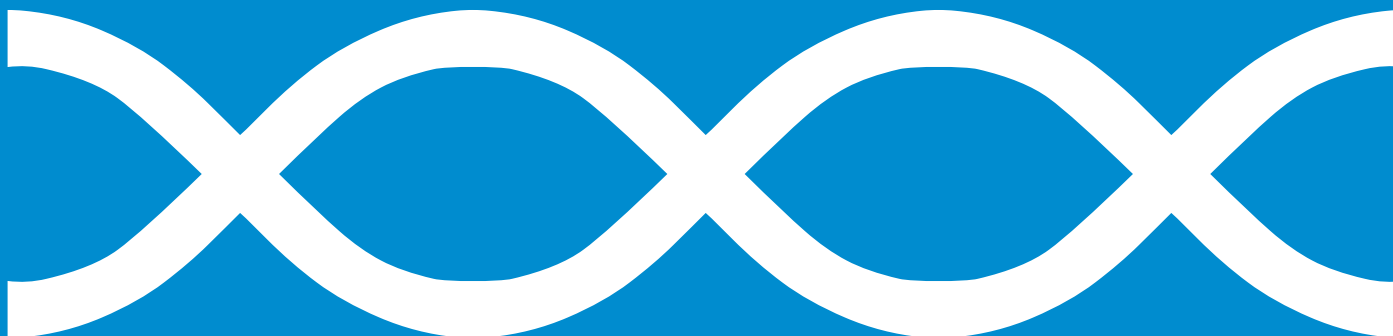


04

CORE TECHNOLOGY

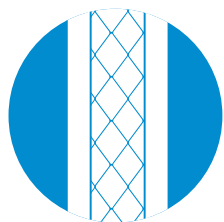
リブX・カットシート

RIB X・CUT SHEET



リブXの特徴

リブ（鉄板）とエキスパンドメタルの一体化を実現した独自製品。通常のエキスパンドメタルには縁（リブ）がないため取付けには他の鋼材などを必要としますが、リブが付くことで取付け方法の選択が広がります。リブ部分の形状を工夫（曲げ・穴明けなど）することによりボルト止めなど溶接以外での連結も可能となります。



リブ付きエキスパンドメタル

エキスパンドメタルとリブ（鉄板）の一体化により、利便性が大幅に向上します。さらに、リブ部の柔軟なカスタマイズも可能になり高い施工性・加工性を誇っています。



多種多様なシーンで活躍

リブ部を加工することで、さまざまなシーンでの活用が可能に。園芸用棚板や簡易フェンス、仮設足場の踏板、建築・土木資材のほか、新たな用途開発の可能性も。



カットシートの特徴

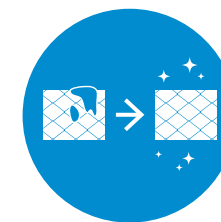


レーザー切断機の定盤専用開発されたエキスパンドメタル。従来のJIS規格にこだわらない独自の専用設計で、切断時に生じるノロ（ドロス）の付着を軽減。堅牢さと軽量化を両立しているため、交換時の作業効率も良く、お客様から高い評価を頂いております。



開口率を約30%UP

網目の開口率を従来品の約30%向上させたことで、ドロス付着による目詰まりや粉塵滞留による製品裏面の汚れが軽減します。



交換作業もスムーズ

従来品と同等の強度、耐久性をキープしたまま軽量化を実現。網目が少ないため交換時の溶接手間も軽減し作業効率の向上が期待出来ます。



広い開口部

利用イメージ

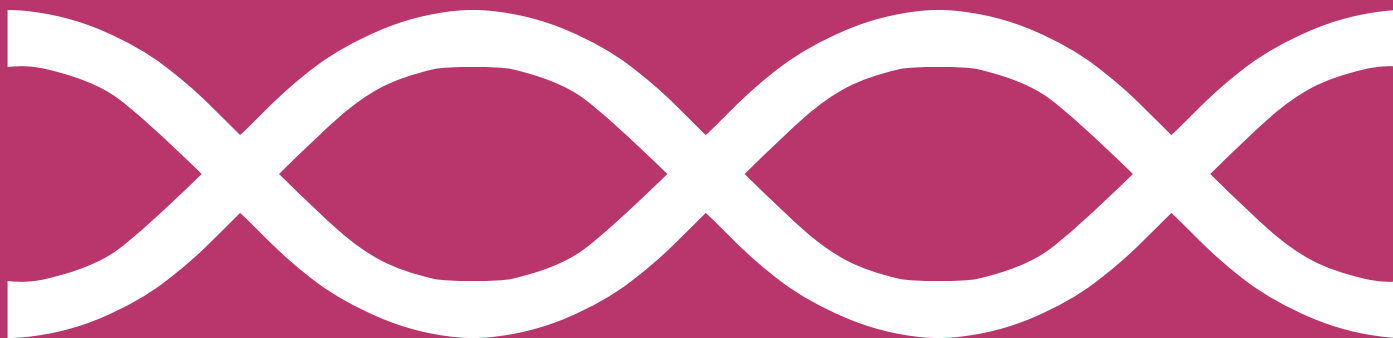
ドロス付着の軽減（利用後6ヶ月）

05

CORE TECHNOLOGY

意匠用アルミエキスパンド

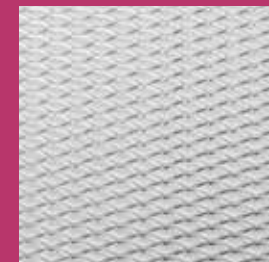
DESIGN ALUMINIUM EXPANDED METAL



AT-80



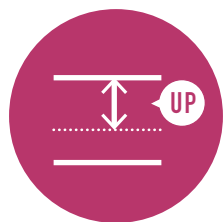
AT-60



AT-30

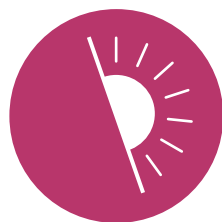
エキスパンドメタルの特長をさらに伸ばした特注品

ファサードやインテリアなど高い意匠性が求められるシーンで幅広く活用されている特注品。アルミ製のため、従来の鉄製エキスパンドメタルよりも軽く、圧倒的な存在感を示しながら、適度な解放感を保つ上、日射や外部からの視線を遮るルーバー機能も兼ね備えています。大手ゼネコンや著名な設計事務所も採用する、現在建築業界で注目を集めている建材です。



重厚でダイナミック

送り幅に厚みを加えることで、エキスパンドメタル独特の立体形状をさらにアピール。ダイナミックな存在感と重厚なデザインで、上質な空間を生み出します。



適度な遮断性

設置角度で遮断性が変化するため、日射の状況や視線の変化を問わない、高いブラインド効果を発揮します。また照明を利用することで、昼夜で異なる印象を演出します。



フレキシブルに対応

建築物は地形や日当たり、周囲の状況など、案件ごとに条件は異なります。そこで、担当者が設計の企画段階から参画し、お客様の理想と条件に合った製品規格をご提案致します。



抜群の耐候性

アルマイト、焼付塗装などの表面処理を施すことで、高い耐候性を実現。屋内外の用途を問わず、様々なシーンで活躍できる、利便性に優れた建材です。

意匠用アルミエキスパンドの導入事例



伏見ミリオン座 (株)大林組(設計・施工)



photo by Nacasa & Partners Inc.



日本女子大学図書館 (株)妹島和世建築設計事務所(設計)／清水建設(株)(施工)



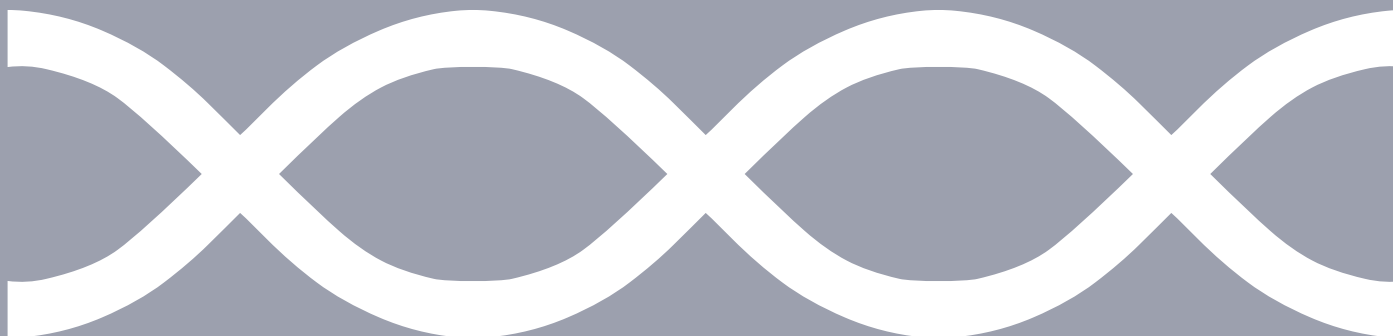
photo by Shinkenichiku-sha

06

CORE TECHNOLOGY

その他金網各種

OTHER PRODUCTS



弊社で製造している主製品はエキスパンドメタルとアートメタルですが、パンチングメタル、ワイヤーメッシュ、平織金網等各種金網も取り扱い可能です。様々な種類の金網があり、その用途也多岐にわたります。参考までに一例をご紹介します。



亀甲金網

亀甲金網は、隣り合わせの線材を二回以上ねじり合わせ、目の形が六角形になるように編んだ金網です。軽量で目動きが少なく、運搬もしやすいため、工事現場や畜産・園芸などを中心に使用されています。

使用用途

土木用資材、家畜舎、防鳥用、保温剤押さえなど



綾織金網

縦と横の線が一定の間隔を保ち、相互に2本ずつ乗り越す織り方。平織金網より太い線で織ることが可能。目が細かい網(250メッシュ以上)は綾織が多く、同じメッシュの平織金網よりも綾織金網の方が強度は大きくなります。

使用用途

選別(ふるい分け)・濾過用フィルター・精錬用・乾燥用・補強用・抄紙用・防塵用・その他工鉋・農業など多数



パンチングメタル

打抜金網とも呼ばれ、さまざまな材質の金属板に打抜き加工を施した製品。穴の形、大きさ、間隔など多様な組み合わせで、建築から工業製品、アートなどの意匠品まで、用途也多岐にわたります。穴あけや、曲げといった二次加工も可能です。

使用用途

フィルター、断熱・保温・遮音パネル、建築内装材、篩、マフラー、オフィス用品など



クリンプ金網

線材に波状の屈折加工を施し、一定の間隔を保ちながら一本ずつ相互に交わせる織り方。波状加工によって、交点のズレを防ぎ、網目の大きさもしっかりキープできます。さらに、平織金網より線材が太く、強度もあります。

使用用途

焼肉・バーベキューなどの焼き網、建築用、工業用、鉋業用、各種機械、保護用、装飾用など多数



平織金網

縦と横の線材が一定の間隔を保ちながら一本ずつ相互に交わせる織り方。交点は溶接せずに編んでいるだけで、網目が四角形の一般的な金網。線径は太くなるほど強度が増し、メッシュ数が多いほど線径は細くなります。

使用用途

選別(ふるい分け)・濾過用フィルター・精錬用・乾燥用・補強用・抄紙用・防塵用・その他工鉋・農業など多数



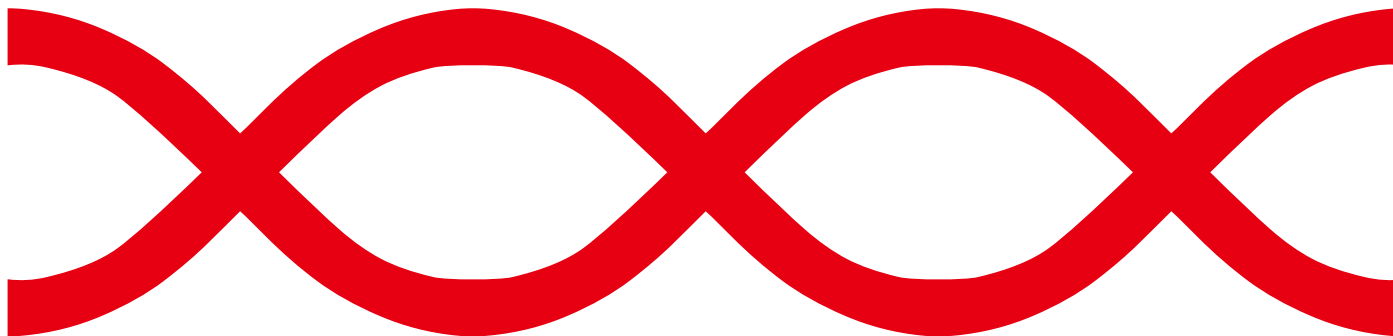
溶接金網(ワイヤーメッシュ)

線材を網目が四角くなるように並べ、交点を溶接した金網。線材には丸棒か異形棒鋼を使用し、太さや網目の大きさによるバリエーション豊富。コンクリートのひび割れ防止用の芯材として使用するほか、壁面緑化やフェンスとしても。

使用用途

コンクリート打設時の芯材、フェンス、害獣柵、防鳥網、エクステリア、店舗什器、食品機器、パレットなど





東邦ラス工業株式会社

TOHO LATH INDUSTRIAL CO., LTD.

●本 社

〒162-0814
東京都新宿区新小川町4番7号 アオヤギビル
TEL.03-3235-8171 / FAX.03-3235-8822

●浦安物流センター

〒279-0025
千葉県浦安市鉄鋼通り2丁目3番10号
TEL.047-352-6609 / FAX.047-352-6619

●福島工場

〒961-8061
福島県西白河郡西郷村大字小田倉字馬場坂163番地2
TEL.0248-25-3221 / FAX.0248-25-3223

東邦ラス工業

検 索

<http://www.toholath.com/>

